



成瀬ダム堤体打設工事

工事だより

[第17号]

【発行元】

鹿島・前田・竹中土木JV 成瀬ダム堤体打設工事事務所

〒019-0803 東成瀬村椿川字立石30-1

TEL：0182-23-5185

FAX：0182-23-5186 (担当：堀江)

WEBサイトはこちら

www.narusedam.jp

2021年12月発行



工事に関してご不明な点がございましたら、お気軽にお電話ください。

今年度の堤体CSG打設が終了し、冬本番に向け備えます



ダムサイト全景（下流より）2021年11月撮影

工事概要

工事名	成瀬ダム堤体打設工事(第1期)
発注者	国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所
工事場所	秋田県雄勝郡東成瀬村椿川地内
水系	1級河川 雄物川水系成瀬川
地質	緑色凝灰岩・凝灰角礫岩・凝灰質泥岩
工期	2018年5月9日～2022年12月9日 (1,675日、約55ヶ月)
ダムの目的	洪水調整 (F)・流量機能維持 (N)・農業用水の補給 (A) 水道用水の供給 (W)・発電 (P)

今後の予定

12/1	安全大会・安全祈願
12/2	鹿島東北支店パトロール
12/7	JV職長会合同パトロール
12/16	安全衛生委員会
12/21	JV職長会合同パトロール
12/23	災害防止協議会
12/26～1/5	年末年始休暇

12月1日現在の人数	JV職員	62人
	協力会社	210人
	合計	272人

工事現況写真



左岸（施工状況）
2021年11月撮影



右岸（施工状況）
2021年11月撮影

現況報告

10月22日に100万m³打設完了式を行いました。完成時の堤体積は485万m³となるので、まだまだ道半ばではありますが100万m³という区切りを迎えられた喜びを参列者一同で分かち合うと共に、今後の無事故・無災害を改めて誓いました。

11月5日には「KAJIMA DX LABO」の来場者が2,500人を突破しました。今年度の見学受付は終了しましたが来年度も多くの方のご来場をお待ちしております。また、「KAJIMA DX LABO」のオンラインミュージアムがオープンしましたのでこちらもお楽しみいただければと思います。

スマホのカメラを起動し右側のQRコードにかざすと
オンラインミュージアムにアクセスできます



AR展示をオンライン体験!
KAJIMA DX LABO
オンラインミュージアム



11月末で今年度の堤体打設が無事に終了し、12～3月は冬期休工(一部工種を除く)となります。今号が今年最後の工事だよりです。今年も、地域の皆様方には大変お世話になりました。来年も安全に工事を進めて参りますので、引き続きご支援ご協力の程よろしく申し上げます。



【100万m³打設完了式】

100万m³となるCSGを打設している様子。
ブルドーザーはA⁴CSELによる自動運転。



【LABO来場者2,500人達成】

2,500人目の藤本さん(修士1年)には
奈須野所長から記念品が贈呈されました。



【堤体の凍結防止養生の様子】

ダムの品質を確保する為、凍結防止の
断熱材を堤体に敷設していきます。

ご挨拶

機電グループの大原 伸浩（おおはら のぶひろ）と申します。2021年9月に着任しました。1998年に鹿島建設に入社し、ダム工事はこれまで岩手県、栃木県、福岡県にて経験し今回の現場が4つ目になります。東北地方では青森県、岩手県など雪国での業務経験がありますが、こちらの降雪量は想像を絶するものだと聞いていますので、心して初めての冬を迎えようと思います。また、私の趣味はロードバイクですが、そろそろ雪のため走れなくなります。秋田県は素晴らしいツーリングコースがたくさんありますので、春が来るのを楽しみに冬の厳しい業務に取り組んでいこうと考えています。

成瀬ダムは国内最大の台形CSGダムとなりますが、CSG製造搬送設備の構築、運転管理等、仮設備全般を適正に管理し、早期竣工に貢献したいと考えております。今年の施工も残りわずかですが、安全最優先で進めていきますのでご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



鹿島・前田・竹中土木
特定建設工事共同企業体
成瀬ダム堤体打設工事事務所
機電グループ長
大原 伸浩（鹿島建設）

自動化グループの菅井 貴洋（すがい たかひろ）と申します。私は、次世代の建設生産システム「A⁴CSEL（クワッドアクセル）」による堤体CSGの自動化施工を担当しております。主に自動化施工の基本となる自動化施工計画を立案する業務と、その計画どおりに自動化機械に指令を出し、効率よく安全かつ円滑に自動化施工を実施させる管制業務を担っています。

私の出身は宮城県で、これまでは関東地方を中心として北は北海道、南は鹿児島県まで、主にダム現場を中心に勤務をしておりました。東北地方での勤務は、今回の成瀬ダムが初めてとなります。

11月で今年の自動化施工は終了しましたが、来年度以降、最盛期には最大23台の自動化機械を連携させ、ダイナミックな自動化施工を実施予定です。今後も引き続きコロナ対策を徹底し、安全・環境に十分配慮し工事を進めて参ります。ダム完成までご協力よろしくお願いいたします。



鹿島・前田・竹中土木
特定建設工事共同企業体
成瀬ダム堤体打設工事事務所
課長代理（自動化Gr）
菅井 貴洋（鹿島建設）